○　消火栓設備

１　主な用途

一般の方が使用する事を目的に建物で火災が起きた際に、水を放射して火を消したり火の広がりを抑えたりする為の初期消火設備です。

２　基準・認定評価

技術基準：屋内消火栓設備の屋内消火栓等の基準

設置基準：消防法施行令

認定評価：日本消防検定協会の認定評価に合格したもの

３　呼称・種類

設備区分	サイズ	種類	備考
屋内消火栓設備	25	２号消火栓 広範囲型２号消火栓	ポンプ起動スイッチ付き 自動圧力調整弁付きも存在
	30	易操作性１号消火栓	ポンプ起動スイッチ付き 自動圧力調整弁付きも存在
	40	１号消火栓	
	50	１号消火栓	危険物対応※１の場合
屋外消火栓設備	65	屋外消火栓	

※１　消防法による基準で燃えやすいものを、一定数以上保管、又は使用する建物に適用される。

４　機器の構造（一般構造）

①　屋内（１号）消火栓

格納箱の中に、バルブ、ホース、ノズルを収納した　２人操作を原則とする屋内消火栓です。

②　易操作性１号消火栓・広範囲型２号消火栓・２号消火栓

１人でも容易に操作できるよう、保形ホースを備え、バルブとノズルを収納した屋内消火栓です。



写真：易操作性１号消火栓

③　屋外消火栓

屋外に設置された消火栓箱の中に、バルブ、ホース、ノズルを収納し建物外部から放水できる設備です。２人操作を原則とします。

５　使用方法

①　屋内（１号）消火栓

１人がバルブを操作してホースを補助しながら、１人がノズルを持って放水します。

②　易操作性１号消火栓・広範囲型２号消火栓・２号消火栓

１人でバルブを開き、ホースを延長し、ノズルの先端を回し、火点に向けて放水します。

③　屋外消火栓

ポンプの起動押釦（又は発信機）を押し、１人がノズルを持って火点まで移動し放水します。もう１人はバルブを開放してホースを補助します。

６　維持方法（使用後の収納手順について）

１）バルブを閉じる
２）ホース内の圧力を抜く※２
３）バルブからホースを取り外す
４）ホース内の水を抜く
５）バルブにホースを取り付ける
６）ホース収納部にホースを収納 もしくは ホース架にホースをかける※３
７）ノズル先端に開閉があるノズルは必ず閉に戻す
８）消火栓の扉を閉める

※２　易操作性１号・広範囲型２号・２号消火栓や噴霧ノズルを使用している場合は、圧力を抜く為にノズル先端を開放する必要があります。

※３　ホースの外観に損傷がないか確認してから、収納して下さい。

７　注意点

１）操作手順に従い、正しく操作して下さい。
２）バルブを開けると、ホース内に圧力がかかります。ホースの取り扱いには十分注意して下さい。
３）バルブとホースを接続する際は、工具で確実に締付けを行って下さい。

８　設置基準

屋内（1号）消火栓	
操作人数	２人
ホース形状	平織りホース（３０m）【１５m×２本】
ホース呼称	４０Ａ
警戒範囲	２５m
始動表示灯	赤色とし、上部又はその直近に設ける事 （位置表示灯が点滅する方式でも良い）
位置表示等	取付け面と１５度以上の角度となる方向に沿って１０m離れたところから容易に識別できる赤色の灯火を設けること。
開閉弁の高さ	１．５m以下
ノズル口径【棒状時】	φ１３
ノズル放水形状	規定無し
ノズル放水圧力	０．１７～０．７MPa
ノズル放水量	１３０Ｌ／分
ノズル放水射程【棒状時】	規定無し
ポンプ起動方法	手動起動　発信機押釦 ｏｒ 起動押釦起動
ポンプ吐出能力	１５０Ｌ／分×消火設備 （各階中の最大設置個数　最大×２）
立上り配管口径	５０Ａ以上
水源量	２．６㎥×各階の最大設置個数　最大×２



操作方法シール【Ｗ１】
起動押釦起動時

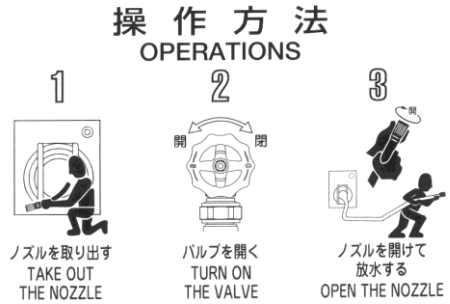


操作方法シール【Ｔ１】
発信機押釦起動時

易操作性１号消火栓	
操作人数	１人
ホース形状	保形ホース（３０m）
ホース呼称	３０Ａ（配管接続４０Ａ）
警戒範囲	２５m
始動表示灯	赤色とし、上部又はその直近に設ける事 （位置表示灯が点滅する方式でも良い）
位置表示等	取付け面と１５度以上の角度となる方向に沿って１０m離れたところから容易に識別できる赤色の灯火を設けること。
開閉弁の高さ	１．５m以下
ノズル口径【棒状時】	φ１３相当
ノズル放水形状	棒状と噴霧の切替
ノズル放水圧力	０．１７～０．７MPa
ノズル放水量	１３０Ｌ／分
ノズル放水射程【棒状時】	７m以上
ポンプ起動方法	バルブ連動起動
ポンプ吐出能力	１５０Ｌ／分×消火設備 （各階中の最大設置個数　最大×２）
立上り配管口径	５０Ａ以上
水源量	２．６㎥×各階の最大設置個数　最大×２



一人操作シール

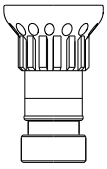


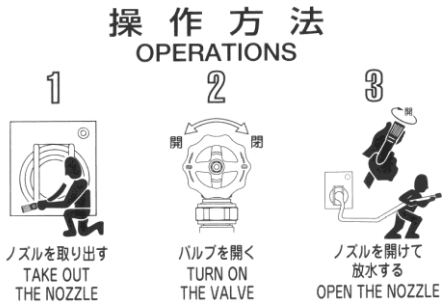
操作方法シール
バルブ連動起動

広範囲型２号消火栓	
操作人数	１人
ホース形状	保形ホース（３０m）
ホース呼称	２５Ａ
警戒範囲	２５m
始動表示灯	赤色とし、上部又はその直近に設ける事 （位置表示灯が点滅する方式でも良い）
位置表示等	取付け面と１５度以上の角度となる方向に沿って１０m離れたところから容易に識別できる赤色の灯火を設けること。
開閉弁の高さ	１．５m以下
ノズル口径【棒状時】	φ１０相当
ノズル放水形状	棒状のみ又は棒状と噴霧の切替
ノズル放水圧力	０．１７～０．７MPa
ノズル放水量	８０Ｌ／分
ノズル放水射程【棒状時】	７m以上
ポンプ起動方法	バルブ連動起動
ポンプ吐出能力	９０Ｌ／分×消火設備 （各階中の最大設置個数　最大×２）
立上り配管口径	４０Ａ以上
水源量	１．６㎥×各階の最大設置個数　最大×２



一人操作シール


アスピレートノズル

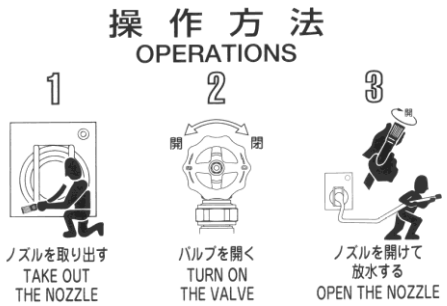


操作方法シール
バルブ連動起動

２号消火栓	
操作人数	１人
ホース形状	保形ホース（２０m）
ホース呼称	２５Ａ
警戒範囲	１５m
始動表示灯	赤色とし、上部又はその直近に設ける事 （位置表示灯が点滅する方式でも良い）
位置表示等	取付け面と１５度以上の角度となる方向に沿って１０m離れたところから容易に識別できる赤色の灯火を設けること。
開閉弁の高さ	１．５m以下
ノズル口径【棒状時】	φ８相当
ノズル放水形状	棒状のみ又は棒状と噴霧の切替
ノズル放水圧力	０．２５～０．７MPa
ノズル放水量	６０Ｌ／分
ノズル放水射程【棒状時】	１０m以上
ポンプ起動方法	バルブ連動起動
ポンプ吐出能力	７０Ｌ／分×消火設備 （各階中の最大設置個数　最大×２）
立上り配管口径	３２Ａ以上
水源量	１．２㎥×各階の最大設置個数　最大×２

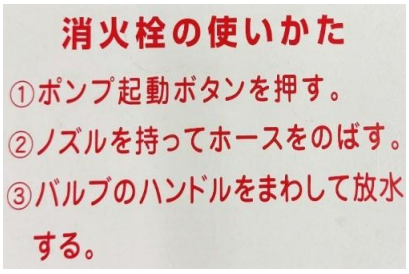


一人操作シール



操作方法シール
バルブ連動起動

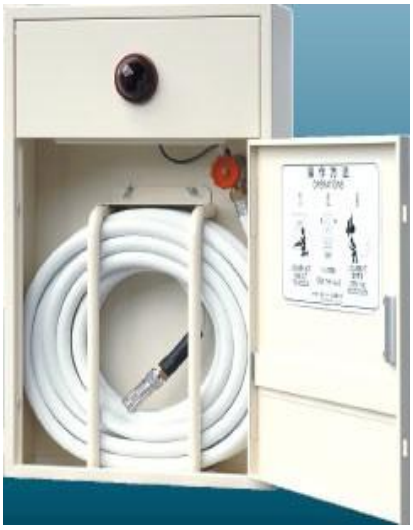
屋外消火栓（地上式）	
操作人数	２人
ホース形状	平織りホース（４０m）【２０m×２本】又は 巻き置きホース（４０m）【２０m×２本】
ホース呼称	６５Ａ
警戒範囲	４０m
始動表示灯	赤色とし、上部又はその直近に設ける事 （位置表示灯が点滅する方式でも良い）
位置表示等	取付け面と１５度以上の角度となる方向に沿って１０m離れたところから容易に識別できる赤色の灯火を設けること。
開閉弁の高さ	地盤面から１．５m以下
ノズル放水圧力	０．２５～０．６MPa
ノズル放水量	３５０Ｌ／分
ポンプ起動方法	ポンプ起動押釦　もしくは　発信機連動
ポンプ吐出能力	４００Ｌ／分×消火設備 （各階中の最大設置個数　最大×２）
水源量	７㎥×各階の最大設置個数　最大×２



操作方法シール

ポンプ起動押釦 もしくは 発信機連動起動

構 成 部 品 紹 介	
屋内（１号）消火栓	
	構成品（一般的な仕様） ベル 表示灯 発信機 消火栓弁（バルブ） 平織りホース ノズル 標準サイズ（例） １３００Ｈ×７５０Ｗ×１８０Ｄ 注）消火栓側でポンプの停止は出来ません
易操作性１号消火栓	
	構成品（一般的な仕様） ベル 表示灯 発信機 消火栓弁（バルブ） 【ポンプ起動スイッチ付】 保形ホース ノズル 標準サイズ（例） １３００Ｈ×７５０Ｗ×２００Ｄ 注）消火栓側でポンプの停止は出来ません

広範囲型２号消火栓	
	構成品（一般的な仕様） ベル 表示灯 発信機 消火栓弁（バルブ） 【ポンプ起動スイッチ付】 保形ホース ノズル（アスピレートノズル） 標準サイズ（例） １２００Ｈ×６００Ｗ×２００Ｄ 注）消火栓側でポンプの停止は出来ません
２号消火栓	
	構成品（一般的な仕様） ベル 表示灯 発信機 消火栓弁（バルブ） 【ポンプ起動スイッチ付】 保形ホース ノズル 標準サイズ（例） ９００Ｈ×６００Ｗ×２００Ｄ 注）消火栓側でポンプの停止は出来ません

屋外消火栓（地上式）	
	構成品（一般的な仕様） ベル 表示灯 発信機 消火栓弁（バルブ） 平織りホース 又は 巻き置きホースノズル 標準サイズ（例） １３５０Ｈ×７５０Ｗ×２３０Ｄ 注）消火栓側でポンプの停止は 出来ません

参考　他製品



